

2014

JAN. 1 vol. 35

# 東京成徳広報



とつくん 大学八千代キャンパスに登場



学校法人 東京成徳学園

C O N T E N T S

P 3	<b>巻頭言「新年を迎えて」</b> 理事長 木内 秀樹
P 4	<b>東京成徳大学創立 20 周年記念式典</b>
P 6	<b>東京成徳大学深谷高等学校創立 50 周年記念式典</b>
P 7	<b>学園の動き</b>
P 8	<b>東京成徳学園の歩み③</b> 短期大学開学から東京成徳大学開学まで
P 10	<b>ひと「活躍する卒業生」</b> 株式会社ファーストステージ 代表取締役 橋口 貴良さん（大学人文学部福祉心理学科卒）
P 11	<b>国際交流</b> 大学 子ども学部 アメリカ研修旅行
P 12	<b>就職状況</b>
P 14	<b>TOPICS</b> 大学院 大学 十条台キャンパス 大学 八千代キャンパス 短期大学 中高一貫部 高等部 深谷中学校 深谷高校 幼稚園 第二幼稚園
P 20	<b>入試カレンダー・お問い合わせ先</b>



TOKYO SEITOKU

学園シンボルマーク  
イエローは「活力」と「勇気」を表し、  
三本の柱は学生・生徒・園児、教職員、  
同窓生を象徴しています。  
ブルーは「理想」と「若さ」を表し、五  
本の柱は五つの教育目標を象徴していま  
す。  
そして、八本の柱が一体となり、東京成  
徳学園とその学園に集う人々のヒューマ  
ニティを作り上げる姿を表現しています。

表紙 とつくん

東京成徳大学イメージキャラクター。  
大学創立 20 周年式典において披露され、1 月 8 日八千代キャンパスに初登場。



## 「新年を迎えて」

理事長 木内 秀樹

### 創立100周年に向けて

新年あけましておめでとうございませう。皆様には新しい年を迎え気持ちも新たに過ごされることと存じます。本年も学園に対し一層のご支援を賜りたくお願い申し上げます。教職員一同一致協力して更なる向上へ取り組む所存です。

本学園は、本年度創立89年を迎えます。来年は90周年となり、いよいよ100周年を考える段階になりました。現在構想中の「東京成徳ビジョン100」では、創立100周年における学園全体の姿、そして、各校の目指すものを構想し、明示することになっています。この策定を通じて、各校では100年目の将来像と目標が明確になることを期待しています。そして、学園全体についても、同窓生をはじめとする学園を支えていただいている方々や教職員が各学校の将来像を共有してより一層の充実を力を合わせ取り組みたいと考えています。

見通すことはなかなか難しいと思われまふ。しかし、目標のない組織は停滞するので、しっかりと目標を掲げてその実現に向けて関係者の力を結集したいと考えています。皆様のご理解とご支援を宜しくお願い致します。

**シンガポールでの視察から**

昨年、私は、日本私学教育研究所主催の視察団で初めてシンガポールを訪問しました。今回の目的は国際バカロレアのプログラムを実施しているインターナショナルスクールの学校視察でした。国際バカロレアとは、スイスに本部がある国際バカロレア機構のディプロマ資格を取得すると欧米諸国を中心とした諸外国の大学に直接出願が可能となるグローバルなプログラムです。日本でも実施している学校が数校ありますが、認知度は低く文部科学省もグローバル人材育成の観点からその導入には積極的な姿勢で研究費の予算化が成されています。

内容的には大学2年生レベルの学習内容も含まれており、また、思考力が必要とされるので難易度の高いものとなっております。いずれにしても各科目とも英語で授業が実施されることが前提であり、英語の苦手な日本の若者にとつてはそれが大きなハードルとなっております。これを受けて文部科学省では「日本語によるプログラム」を研究開発しようと考えているようですが、結局は英語の能力は必要となる訳ですから険しい道であることには変わりありません。

シンガポールの国家の教育方針は明確です。資源もない小さな国ですから人材育成に特に力を注いでおり、優秀な人材を育てて国の中核を担わせるのです。ですから、小学校から宿題も多くしっかりと勉強させるようですが、12歳からは節目ごとに何回か進路を決める試験が課せられて、エリートを選抜して教育していくのです。タイムズ誌発行の『Times Higher Education』の世界大学ランキングでは、アジア1位の東京大学に次いで2位にシンガポール国立大学がランクされており、北京大学、ソウル大学、京都大学より上位となっております。

### 日本のグローバル化

本学園でもこれからの教育方針として「グローバル化への対応」を抜きにして考えられませぬ。まずは、英語のコミュニケーション能力をどのように向上させることができるかが大きな課題です。これは各校というよりは学園一体で取り組むべき課題といえます。

そして、日本の若者にとつて本当に深刻なのは「学びに対する関心と意欲」が低いということです。困難を恐れずにチャレンジすること、向上心や志を持って能動的な学びができるれば日本の若者はもともと伸びるはずなんです。そのため、私たち学校は若者たちの心に火をつけるのが役目だと強く感じています。

今の時代は、変革のスピードが速く、流動的でもあり、将来のことを

学習内容も含まれており、また、思

## 東京成徳大学創立 20 周年記念式典



木内理事長の式辞

東京成徳大学は、平成 5 年 4 月、千葉県八千代市に開学。当初は、文学部のみでのスタートでしたが、現在では、大学院及び 4 学部（子ども学部、経営学部、人文学部、応用心理学部）を擁する規模に発展し、この度、創立 20 周年の節目を迎えることとなりました。

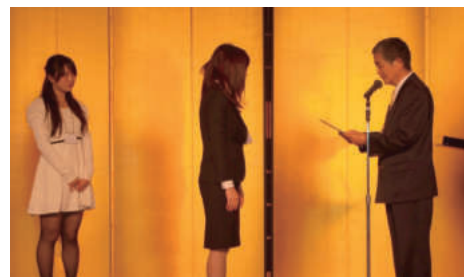
平成 25 年 11 月 9 日、千葉県浦安市舞浜のホテルオークラ東京ベイに於いて東京成徳大学創立 20 周年記念式典が開催され、ご来賓、学生代表、教職員をはじめ卒業生や教職員

OB の皆さん、総勢 150 名の方にご出席いただきました。



海保学長の挨拶

記念式典は東京成徳学園木内秀樹理事長の式辞からスタートし、東京成徳大学海保博之学長の挨拶の後、豊田俊郎参議院議員（前八千代市長）からご祝辞をいただきました。



キャラクター部門の表彰

門の表彰も行われ、受賞者の方々に記念の盾と賞金が贈られました。

### ○キャラクター部門

#### ☆最優秀賞☆

とつくん、せいちゃん

（短期大学幼児教育科 2 年）

馬場瑞穂さん



今回の

#### ☆入賞☆

記念企画 東京成徳大学イメージキャラクター

として募 集した「イ

メージキャラクター」

#### ☆入賞☆

「応援歌」、せいちゃん・とつくん

（福祉心理学科 加地雄一准教授と

「スローガン」の 3 部 学生のみなさん）

最優秀賞を受賞した馬場瑞穂さんの作品から「とつくん」が東京成徳大学イメージキャラクターとして式典終盤にサプライズで登場。作者の馬場さんは勿論、式典に参加された皆さんが驚きと同時に可愛らしさに癒されました。「とつくん」

は、式典終了後に開催された「人文学部・応用心理学部同窓会」でもパーティー会場に現れ、同窓生の方々から写真撮影の希望が殺到するほどの大人気でした。

「とつくん」は、これから、東京成徳大学イメージキャラクターとして様々な場所に登場し、東京成徳大学を応援してまいります。是非、

# いざ行かん

作詞 松崎 博

緑に萌ゆる武蔵野の  
大地の息吹きに奮いたて  
成徳魂胸に秘め  
今こそ我ら聞わん  
ああ青春の若き力に  
幾星霜の希望(ゆめ)かけて  
勝利めざして聞わん

茜に染める富士の嶺  
負けじと遥かに燃えあがれ  
成徳魂握りしめ  
今こそ我ら聞わん  
ああ青春の涙(たぎ)る命に  
幾千万の希望(ゆめ)かけて  
勝利めざして聞わん

勝利信じていざ行かん

れ、このCDは、  
参列いただいた皆  
様に記念品として  
楽譜と共に贈られ  
ました。応援歌「い  
ざ行かん」は大学  
HPから聞くこと  
ができます。

最優秀賞を受賞した前田幸代さ  
んの「T(共に)S(ステップ)U  
(アップ)！」は、同窓会総会の壇  
上にも大きく掲げられ、同窓生の  
方々に紹介されました。



最優秀賞の松崎博さん作詞の「い  
ざ行かん」東京成徳大学応援歌」  
には、短期大学幼児教育科の板本勝  
百先生により曲が付けられ、素敵な  
応援歌が完成しました。式典では、  
CDに収録された前田拓郎先生(子  
ども学部)のピアノ伴奏による橋本  
美香先生(子ども学部)の歌が流さ

「いざ行かん」東京成徳大学応援歌」

(事務局 松崎博さん)

☆最優秀賞☆  
○応援歌部門

皆さんのお友達にも「とつくん」の  
ご紹介をお願いします。「とつくん」  
のイラストは大学HPからご覧い  
ただけます。

☆入賞☆

「東京成徳大学応援歌」

(事務局 岡村義継さん)

☆入賞☆  
「東京成徳大学応援歌」  
(日本伝統文化学科卒業生  
権名愛さん)

○スローガン部門

☆最優秀賞☆

「T(共に)S(ステップ)U(アップ)！」

(事務局 前田幸代さん)

☆入賞☆

「ここから始まる 私の未来」

(福祉心理学科 加地雄一准教授と学生のみなさん)

☆入賞☆

「未来につながる私を作る」

(福祉心理学科 加地雄一准教授と学生のみなさん)



大学事務局八千代総務課

式典の締めくくりは、東京成徳学  
園学術顧問・東京成徳大学名誉教授  
の國分康孝先生による記念講演「縁  
ありてこそ」が先生の豊富な体験に  
基づく貴重なお話にユーモアを交  
えて行われ、満面の笑みと大歓声の  
中、1時間の式典は、閉式の辞を迎  
えました。



國分学術顧問の記念講演

## 東京成徳大学深谷高等学校創立 50 周年記念式典

東京成徳大学深谷高等学校の創立 50 周年記念式典は、平成 25 年 10 月 19 日に、総合体育館（F・アリーナ）で行なわれました。当日は天気にも恵まれ、深谷市長をはじめ多くの来賓の方々、PTA、後援会、同窓生、そして在校生・教職員ら約千人が節目を祝いました。

### 式典の部

大谷校長は、式辞の中で昭和 38 年の創立以来、一貫して「成徳」すなわち「徳を成す」人間の育成を建学の精神としたこれまでの教育活動を紹介し、周囲への感謝を述べるとともに記念事業の一環でもある今年度の 4 月に開校した中学校は、深谷市における初めての私立中学校として生徒一人ひとりの良さを大切に、個に応じた指導、面倒見教育の徹底を実践してきたことが述べられ、続いて、木内秀樹理事長から創立時の苦労話として「これから新たな高みを目指して教職員一丸となつて挑戦してほしい」とエールをいただきました。

式辞で大谷幸男校長は、建学の精神である「徳を成す」を教育活動の根本に据え、これからの新たな 50 年を目指すようにと生徒に呼びかけ、在校生 853 人は母校の更なる発展に決意を新たにしました。



大谷校長の式辞

大谷校長は、式辞の中で昭和 38 年の創立以来、一貫して「成徳」すなわち「徳を成す」人間の育成を建学の精神としたこれまでの教育活動を紹介し、周囲への感謝を述べるとともに記念事業の一環でもある今年度の 4 月に開校した中学校は、深谷市における初めての私立中学校として生徒一人ひとりの良さを大切に、個に応じた指導、面倒見教育の徹底を実践してきたことが述べられ、続いて、木内秀樹理事長から創立時の苦労話として「これから新たな高みを目指して教職員一丸となつて挑戦してほしい」とエールをいただきました。

来賓では上田清司埼玉県知事の祝辞を山崎明弘学事課長が代読し、加藤裕康埼玉県議会議員、小島進深谷市長、小川義男埼玉県私立中等高等学校協会会長から祝辞をいただきました。

保護者を代表して川田博康 PTA 会長が「生徒一人ひとりの個性を伸ばし、良いところを引き出してくれる素晴らしい学校です。地域に根

ざし世界に羽ばたける前途有望な若者を送りだしてくるものとして期待しています。」と述べられ、生徒を代表して村田玲衣奈生徒会長が「数ある高等学校の中で成徳を選んだ理由が 2 つあります、1 つは、生徒と先生の距離が近く、何でも相談できる関係にあるということです。もう 1 つは、生徒一人ひとりに居場所があるということです。これからも成徳生の名に恥じない生徒でありたいと考えています。」と決意を表明しました。

そして、参列者全員で校歌を斉唱（指揮 1 年金澤雅也君、ピアノ伴奏 2 年設楽実乃里さん）して式典は終了しました。その後行なわれた深谷市の女性合唱団「Voice Sonare」による合唱及びチアダンス部の演技が会場を沸かせました。



その後行なわれた深谷市の女性合唱団「Voice Sonare」による合唱及びチアダンス部の演技が会場を沸かせました。

### 祝賀会の部

午後は会場を埼玉グラウンドホテル深谷に移して祝賀会が開催されました。尾城秀臣後援会副会長のこぼで幕が開き、正智深谷高等学校の渡辺達治校長並びに村岡敏弘後援会長から祝辞を賜りました。

また、これまでの感謝を込めて山田やす子同窓会長をはじめ学校医の委嘱を受けていただいている先生方、そして、中学校校舎建築に尽力いただいた株式会社三菱地所設計、鹿島建設株式会社に感謝状を贈呈し、併せて永年勤続者（勤続 30 年以上が 5 名、勤続 20 ～ 29 年以上が 19 名）を表彰しました。

会場では地元深谷の「東大沼お囃子保存会」の皆さんが伝統あるお囃子を披露し、息の合った力強いお囃子は参席者を魅了しました。

その後、小笠原靖教諭の力作である「東京成徳大学深谷高校の 50 年の歴史」が上映され、映像で振り返る歴史に懐かしさと驚きに会場は包まれました。



登校風景（昭和 48 年）

幻となった記念イベント

10月16日に予定していたサッカーなでしこジャパンの佐々木則夫監督の講演を中心とした記念イベントは、猛烈に発達した台風26号の進路が懸念され、前日の夕方、翌日の記念イベントを開催するか否かを検討した結果、生徒の安全を優先して中止としました。当日は大変な暴風雨で中止の判断は正しいものでしたが、期待が大きかっただけに中止は大変残念でした。

「記念イベント内容」

- 1 落語 三遊亭楽京師匠
  - 2 テノール独唱 藤牧正充
  - 3 講演 佐々木則夫氏（サッカーなでしこジャパン監督）
- 演題「夢と出会いが力に〜チームワークとコミュニケーション」

「記念事業概要」

- 1 中学校校舎建築
- 2 高校校舎空調設備更新
- 3 高校校舎・外構改修
- 4 図書室改修及び図書購入  
(同窓会より寄附)



校舎航空写真（平成 25 年）



校舎航空写真（昭和 40 年）

学園の動き

受配者指定寄付金制度対象の

寄付金募集の開始

学園では日本私立学校・共済事業団が行う受配者指定寄付金制度の対象となる寄付金募集を平成25年10月1日から開始しました。

受配者指定寄付金制度とは私立学校の教育研究に寄与するために、寄付者が指定した学校法人に対して、日本私立学校・共済事業団を通じてご寄付していただく制度です。ご寄付は指定された学校法人に

において教育事業の運営・充実のために役立てられます。寄付者は、主に企業等の法人を対象とし、法人税法上で全額を損金に算入できます。なお、個人でご寄付をされる場合には、平成23年度から導入された税額控除の対象寄付金、または特定公益法人に対する寄付金として取扱ご寄付に付きましては、各校事務室にお問合せください。

学園人事 平成25年8月〜平成26年1月

採用

職員		所属		氏名		配属・役職	
短大事務局	短大事務局	小川	一成	総務課長			
大学事務局	有原	優樹		八千代教務課			
中学・高校	古川	恭子		事務部			
法人事務局	飯田	峰丸		総務課			

退職

職員		所属		氏名		配属・役職	
短大事務局	馬場	周一		総務課長			
短大事務局	小河	克明		労務			
大学院事務局	田中	秀		主任			

異動

職員		所属		氏名		配属・役職	
大学院事務局	八角	理樹		主任			
							八千代教務課主任 前任

東京成徳学園の歩み③  
— 短期大学開学から東京成徳大学開学まで —

第三代理事長 木内四郎兵衛先生



創立四十周年式典 短期大学開学式典

## 短期大学の教育

戦後、日本は高度経済成長を続け、所得倍増計画や人口増加などの様々な変化がもたらされました。その1つに大学・短期大学への進学者の急増があります。昭和40年に開学した東京成徳短期大学も翌年には文科を国文専攻と英文専攻に分離し、幼児教育科を増設しました。そして、定員の増員を図っていくことになりました。

初代熊澤龍学長は「学問のために学問するのではなく、学問を通して、高く広い教養を身につけてもらいたい。教養による美、美を中心とする教養、これを本学に学ぶすべての学生が心にきざみつけておくことを期待する」と人間形成を強調されました。昭和48年に学長に就任された木内四郎兵衛学長は人間の内面から輝き出る「心の美」を強調された徳力、知力、体力、技能力の総合された人間としての力の充実を期待し、そして、平成5年に就任された木内秀俊学長は「専門分野を深めるだけでなく、勉学の過程を通じて探求する方法・視点を築きあげるこ

とが重要であり、社会に出てから活躍するための応用力や行動力を養うこと」と述べられています。

「美」に込められた女子教育を本分とした本学の「有徳有為な人間の育成」を目指し、高等教育機関としてこれからの社会を担う学生たちに学問研究、人間形成、専門的技術の教育を目的として、実施してきました。

増加する入学者に対し、北区十条台のキャンパスに校舎を増築して教育環境の整備を進め、また、カリキュラムと教授陣の充実を図りました。

## 創立50周年 次の50年に出発

昭和50年10月に学園創立50周年を控えた4月、創立から戦中、戦後、発展期の学園を支えてこられた菅澤重義理事長が逝去され、5月に学園葬がしめやかに執り行われ、学長に就任された木内四郎兵衛先生が第3代理事長に就任されたのでした。

創立50周年記念式典に先立ち昭和49年11月に記念同窓会が都内のホテルで開催され、中学・高等学校の同窓生780名が参加し盛大に行われ、50年間に15,138人の卒業生を

送り出した学園の継続と発展を感じさせるものとなりました。

そして、翌年10月28日に高校講堂にて、記念式典が挙行されました。

学園創立50周年記念誌で木内四郎兵衛理事長は「わが学園の今日と明日の教育」と題し寄稿。東京成徳の教育の根本は「反始報本」——始めにかえって本に報ゆる——即ち建学の精神を体し、それから出発した教育方針を堅持した教育集团と、その方針を希求する学習集団との、より良き学習の場を設定し、その効果を期待していかなければならない。さらに社会の進展に即応して教育内容、教育方法を変えなくてはならない。」と記されています。

昭和51年に東京成徳短期大学附属第二幼稚園を開園しました。また、各校において校地の拡充に努め、校舎を鉄筋校舎に新築して教育環境を整えていきました。教育の研究は絶え間なく、中高では昭和36年以来学習用ティーチングマシンの開発に踏み切り、種々改良を加え東京成徳式ティーチングマシンとしてI-VIII型まで開発され授業に使用されました。そして、昭和56年にはコンピュータを導入し短時間で容易に学習診断表が作成できるよ

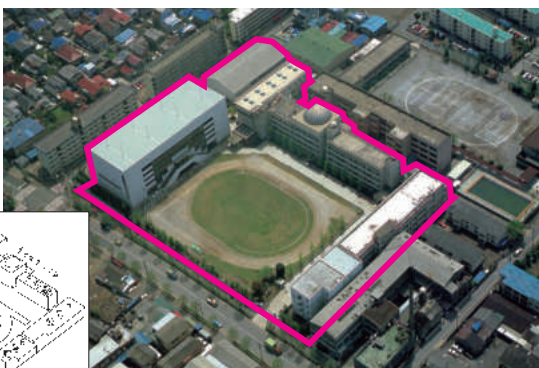


## 東京成徳学園の歩み③

高校高等部（北区王子）校舎の変遷



昭和39年頃



昭和59年頃



第二幼稚園運動会



高校バスケット部全校高等学校バスケットボール選手権大会（昭和55年）優勝の瞬間

昭和39年頃、校地の北と東は貨物の引込線に囲まれており、写真中央の体育館は陸軍第二造兵廠時代の建物を改築して使用。その後、用地の取得と校舎の増築が行われ現在の敷地となる。創立60周年記念事業の一環として総合体育館が建築された。

うになりました。

これにより学習目標達成者と未達成者に分け、未達成者には教育機器などを十分に活用し再度この単元を学習させ目標達成のために努めさせました。

創立60周年記念式典で木内四郎兵衛先生は「昭和41年～50年の第2期総合計画では50周年記念館、深谷校の増築、幼稚園の全面鉄筋化等を完成し、校舎増築5,599㎡、校地の拡張12,099㎡に及んだ。第3期総合計画は学園各学校の一層の環境整備計画でもあるが、特に中学・

高校のゆとりある充実した教育課程の改訂に伴い、一層の教育成果を上げるための施設・整備を最優先し、生徒のニーズに対応できるようにした。予定した計画は全て完了したので反始報本の精神を堅持し全学一体となつて来たるべき21世紀への飛躍を期そうではないか」と挨拶されています。

現在でも盛んである部活動は多くの生徒が参加し、特に高校のバスケットボール部は昭和37年の全国大会初出場以来全国に「東京成徳」の名前が知られ始めました。昭和55年の全校高等学校バスケットボール選手権大会では初めて全国制覇、58年・

59年も連続して連続全国制覇の偉業を成し遂げ、日本スポーツ賞（読売新聞社）を受賞しました。その他にも、卓球部やバトン部をはじめとする運動部、吹奏楽部などの文化部が活躍し、学年やクラスを越えて育まれた友情や体験が生徒の貴重な財産となつていきます。

**第4期計画に東京成徳大学の構想**  
平成2年4月には木内四郎兵衛校長から、高等学校校長に菅澤喜八郎先生が、中学校長に木内秀樹先生が引継がれました。

校長職を去るにあたって木内四郎兵衛理事長は第4期計画（昭和61年～平成7年）70周年記念事業として短期大学校地拡張、中学・高校校舎の建て替え工事、東京成徳大学設置（人文学部）などを考えていると構想を記されています。

平成5年千葉県八千代市に東京成徳大学が開学、木内四郎兵衛理事長が初代学長に就任し、短期大学には木内秀俊学長が就任しました。

大学開学は学園の女子教育から共学への転換に先鞭をつけ、幼稚園、中学校、高校、短大、そして大学を擁する総合学園として大きく翔たきはじめたのです。

（つづく）

# ひと

## 『活躍する卒業生』

大学人文学部福祉心理学科

(現・応用心理学部福祉心理学科)

(平成10年3月卒業)

株式会社ファーストステージ

代表取締役 橋口 貴良さん

橋口さんは平成17年にたった一人で居宅介護支援専門会社を創業されました。僅か8年間で180名の社員を擁し、5ヶ所のデイサービス店舗を経営され、この2月には14番目の営業所を千葉県鎌ヶ谷市に新設予定という成長を遂げて地域社会に貢献されています。



**Q・福祉心理学科を志望された動機、在学中に印象に残っていることは。**

私は八千代松陰高校に在学中、市役所に勤務していた両親が「これからは高齢化社会になるから福祉の勉強をしてみたら」と薦めてくれました。福祉や介護のことはよくわかりませんでした。地元の大学で通学が近いし、福祉と心理学を学べる為志願した訳です。

大学時代は楽しかった印象しかありません。私たちは2期生でしたので自分たちが企画して実行できることも多く、野球部の部活、アルバイトも、とても楽しかったです。

福祉心理学科の授業やゼミにおいて、各種の福祉施設・特別養護老人ホームなど今まで見たことのない世界を見学、仕事を体験する機会を多く頂くことができ、漠然と今後、福祉の仕事に携わるなら、自分に何が出来るか、福祉社会をどう変えていけるかを考えるきっかけを頂きました。

**Q・卒業後の進路と現在まで**

東京に本社がある大手在宅総合福祉サービスの会社に入社。

最初の配属は、3人一組のチームで寝たきりのお客様宅に訪問し、入

浴をして頂く、訪問入浴業務の部署に配属されました。

福祉の仕事、社会人としてのマナーなどを学ぶ日々でした。仕事に慣れた2年目には、木更津営業所の所長として、30人のスタッフを任せられ訪問介護等の管理者として様々な業務を経験。その後、千葉県内の各事業所として幅広く業界のことを熟知することができました。

また、数多くの新規事業に携わることで事業計画作成なども行っていたことが、独立してから非常に役に立ちました。

29歳の時に八千代市緑ヶ丘に「地域の福祉サービスに寄与したい」と介護保険制度において相談業務が主である居宅介護支援事業専門会社として独立しました。

しかし、最初の3年間は銀行の支援も得られず本当に大変でした。

当時従業員には話すことはできませんでしたが、4年目までは夜間にアルバイトをしていました。今では笑い話ですが当時話せば皆すぐに辞めてしまうと思っていたことを鮮明に覚えています。

あらゆる手段を講じて優秀な人材を確保し、5年目以降からやつと黒

字になり銀行からの融資もスムーズに受けられるようになり、事業内容も幅広く、サービス提供地域も着々と広がっていくことができました。そして、現在では在宅総合福祉サービス会社として、毎年グループの経営方針書を作成し「地域社会に対する貢献度は会社の存在意義に比例する」と地域社会に貢献できる仕事だけを広げていくと明示し、事業を行っています。

社員には社会にとっても、自身にとっても必要な資格をとるように指導しており、私自身も学生時代から多くの資格に挑戦し、現在は、主任介護支援専門員や柔道整復師の資格を取得しています。

この仕事は社会の未来を築いていく非常にやりがいのある仕事です。今後もお客様、従業員の一生をサポートできる幸せや豊かさの一端を担える、生涯支援会社を作ること目標として頑張っていきたいと思えます。

**Q・後輩へのメッセージ**

学生時代は友人と唯一長く接することのできる時間があります。そして、「人生を考える時間」があります。今の生活を真剣に楽しんでください。

# 国際交流

## 大学 子ども学部

### アメリカ研修に行ってきました

私たち十条台キャンパス子ども学部3年生59名は、10月6日から15日までの10日間、アメリカ研修に行ってきました。「アメリカ研修とは、何をしに行く研修なのだろう？」と思う方がいらっしやるかと思いますが、「子ども問題海外研修」という授業の一環で、前期に海外の子どもに関する問題について学び、後期にアメリカ西海岸（サンフランシスコ・ロサンゼルス）へのフィールドワークを通して、海外の保育・教育事情について考える研修です。子ども学部1期生から実施しており、今回で8回目となりました。

### 前半5日間はサンフランシスコ

サンフランシスコでは、保育所、託児所、母子家庭支援センター、幼稚園から中学校までの一貫校などの幅広い教育施設を見学し、日本の保育・教育とは違ったアメリカの現状を肌で感じてきました。また、小学生を対象としたアフタースクールでは、科学プログラムに参加し、ロボット作りなどを体験しました。

研修のメインはサンフランシスコ



コ州立大学での2つの講義です。

①日本とアメリカの価値観の比較を通して各国の保育の質について考える講義、②幼児の音楽教育について手や楽器を使いながら体験する演習を受講し、アメリカの大学の気分を味わうことができました。最後には保健社会福祉学部の教授から一人ずつ4日間の研修修了書をもらい感激でした。

市内観光も大いに楽しめるのがこの研修旅行の特徴です。サンフランシスコは坂が多いのですが、道が碁盤の目のようになっていて、とても分かりやすく、歩いて行けるところも多いです。街並みがとても綺麗なため、名物のケーブルカーに乗りたり、自転車をレンタルし観光するのも最高です。

### 後半4日間はロサンゼルス

次は飛行機でロサンゼルスへ。

ハリウッドやチャイニーズタウン、サンタモニカビーチなどはワクワクします。アメリカの大富豪が作ったゲッティ・センター美術館は、無料でゴッホやルノワールの絵画を鑑賞できるのです。過去に7億円で落札されたゴッホの『アイリス』を間近で見られるのはビックリ。そして、最終日は、待ちに待った本場のディズニールランド！日本にはない乗り物やパレード、感動的な花火のショーをみる事ができ、うっとり。何とティンカーベルが・・・あつ、これ以上は内緒です。楽しすぎる10日間でした！



### 子ども問題海外研修

in アメリカかるた2013

- ① ことしおきました アメリカ
- ② どうです この景色 最高でしょ
- ③ もー 一回行きたいな 今すぐに
- ④ もー 時間おなかも いっぺい
- ⑤ ー 時差ほけつらい！
- ⑥ だんだん英語も聞きとれた
- ⑦ いち日かけてサンフランシスコ横断
- ⑧ いもの天国！ユニオンスクエア！
- ⑨ ろんな人との出会いに感謝
- ⑩ がたんごとん ケーブルカー
- ⑪ もたれはじめてしたよ。
- ⑫ けいたい電話 大事！
- ⑬ ーと歩いたサンフランシスコの坂
- ⑭ せつ見学日本と違いを知りました
- ⑮ ゆうぐれ サンタモニカにうっとり
- ⑯ うまい！ 名物クラムチャウダー
- ⑰ いい天気 10日間全部晴れ！
- ⑱ んー☆ 本場のディズニール最高だ。
- ⑲ あめーじんぐなビッグサイズ
- ⑳ めの保養 イケメン外国人
- ㉑ りんごもない 野菜もない肉ばかり
- ㉒ かわいかった 子どもたち！



# 就職状況

## 十条台キャンパス

### 子ども学部・経営学部

子ども学部の4年生は、82%が保育士及び幼稚園教諭を目指しています。

子ども学部のキャリア形成の授業では就職観・職業観の育成に取り組んでいることに加え、卒業後の目的意識が高い学生が多いため、例年同様ほぼ全員の就職が見込めるとしています。

## 経営学部の2回目の卒業生となる4年生は、12月末までに80%以上の就職内定率を得ることが出来ました。昨年から劇的に就職内定率を高めることが出来た要因は、教職員が連携しながら学生の就職活動支援の強化をしたことです。

具体的な実行内容は、教職員が就職活動のペースメーカーであり伴走者となる（学生の傍らに付く）

具体的内容として、就職活動のペースメーカーであり伴走者となる（学生の傍らに付く）

## 平成25年度 経営学部3年生 就職進路支援プログラム一覧(就活プログラム)

月	日	時間	講座名	目的・内容
4	18	13:00~14:30	第1回就職ガイダンス(就活支援オリエンテーション)	就職活動の流れを把握する。支援活動スケジュール、就職活動の現状、就職活動支援体制(進路の手引を基に)について説明。「東京経済大学NAU」について説明。
4	25	13:00~14:30	第2回就職ガイダンス(就活スタートアップ講座)	就職活動の意識づけを図る。
5	16	13:00~14:30	第3回就職ガイダンス(4年生の就活体験を聞く会)	就職活動開始時から進路決定までの経緯について、内定した先輩からの話を聞き、質問することにより、これからの就活における参考とする。
5	23	13:00~14:30	第4回就職ガイダンス(自己分析講座)	自分に合った仕事を探す上で欠かせない自分についての理解を深める。履歴書・エントリーシート作成のもとになる自己分析の手法を解説。
6	6	13:00~14:30	第5回就職ガイダンス(業界研究、職種研究講座)	業界、職種に関する基礎知識について理解を深める。情報収集の方法や、選択する上でのポイント解説。
6	13	13:00~14:30	第6回就職ガイダンス(業界研究)	実際に業界についてそこで働いている人から話を聞くことにより、職業選択の幅を広げる機会とする。
6	20	13:00~14:30	SPI模擬試験①	SPI模擬試験実施
6	27	13:00~14:30	第7回就職ガイダンス(筆記試験対策講座)	筆記試験対策を早めにスタートして夏休みに終了させる。SPI、一般常識試験の解説(筆記試験の現状、種類と傾向、SPI2試験の詳細、一般常識・時事問題、学生へのアドバイス)
7	4	13:00~14:30	一般常識模擬試験	一般常識模擬試験実施
7	11	13:00~14:30	第8回就職ガイダンス(履歴書・エントリーシートの書き方講座①)	履歴書・エントリーシートの書き方のポイントを知る。基本的な文章の書き方、自己PRの作り方、人事担当者が評価するエントリーシートと見られるポイントを知る。
7	18	13:00~14:30	第9回就職ガイダンス(履歴書・エントリーシートの書き方講座②)(前期総括、夏休みの過ごし方)	前回の講座の内容を踏まえ、履歴書・エントリーシートの書き方について、更に理解を深める。夏休みは就活の準備を進める上で大切な時間であること認識して、やるべきことを再確認する。前期の考までの振り返り、夏休みに是非やっておきたいこと、学生生活への対応、後期の支援プログラムの紹介。
10	2	10:40~12:10	第10回就職ガイダンス(就活本番スタートアップ講座)	就活本番スタートアップ講座。準備がいかか準備を進めているかを伝え、学生のモチベーションをあげる。外部講師により周りがいかに準備を進めているかを伝え、学生のモチベーションをあげる。
10	9	10:40~12:10	第11回就職ガイダンス(ビジネスマナー講座)	就活面接や選考など、ビジネスマナーが必要なシーンできちんとはふるまえるように。第一印象の重要性、非言語的表現(身だしなみ・表情等)、お辞儀と挨拶、言葉使い、会社訪問・面接日までの流れ
10	23	10:40~12:10	第12回就職ガイダンス(面接対策講座)	個人面接・グループ面接を受ける際のポイントを知る。グループに分かれて模擬面接を行う。フィードバックを通じて課題を発見・解決する。
10	30	10:40~12:10	第13回就職ガイダンス(グループディスカッション対策講座)	グループディスカッションを受ける際のポイントを知る。グループに分かれて与えられたテーマについて話し合い制限時間内に結論を出す。本番で円滑に進められるコツを習得する。
11	6	10:40~12:10	第14回就職ガイダンス(就職活動での就活サイトの使い方の講座)	就活に不可欠なツールであるネットを効果よく上手に使いこなす。就活WEBサイトの活用について解説(就活サイトとは? 基本的な使い方、構造、サイトで見られるポイント)
11	13	10:40~12:10	第15回就職ガイダンス(優良中堅・中小企業の見分け方講座)	優良中堅・中小企業の見分け方を知り中堅・中小企業に目を向けるきっかけとする。
11	14	14:40~16:10	SPI模擬試験②	SPI模擬試験実施 ※当初、10月16日実施予定でしたが台風の影響によって中止となり、その振り替え措置として設定
11	20	10:40~12:10	第16回就職ガイダンス(講演『「社会に出る学生へのメッセージ」 働くことで得られる喜び』)	「ビジネスマンの君に伝えたい40のこと」の著者である、株式会社日本レジャー代表取締役社長の近藤宣之様にご講演頂く。最後の就職進路支援プログラムとなるので、社会に出るにあたっての心構えをお話し頂く。

○公務員試験対策講座(有料): (8月、9月) 全学対象  
 ○就職筆記試験対策講座: 8月6日~8日  
 ○学内合同企業説明会: 12月19日 12社の優良企業を招致し学内にて核企業の説明を聞くことができるようになる

4年生は、就職活動開始時期が3年時の12月となつて2回目ということもあり、落ち着いて就職活動に取り組めた学生が多かつたように感じます。11月末時点で、両学部合計の進路決定率(卒業見込者数に占める進路決定者)は56%となつており、前年より10%ほど改善しています。学科別には国際言語文化学科が71%、観光文化学科が70%、健康・スポーツ心理学科が68%と健闘しています。特に健康・スポーツ心理学科の女子は86%と昨年に引き続き

12月から3年生も就職活動がスタートし、本格化していきます。この時期多いのが説明会に参加しただけで、就職活動をしたような気になつてしまつている学生です。エントリーシートの提出、筆記試験、面接と具体的に進めていくことが大切です。就職活動を進めるためには、企業研究や業界研究、そして自己分析などを通してまとめた自己PRなどを総合して「その会社でどうしても働きたい」という志望理由にまとめあげる必要があります。

学生を「考え込む、落ち込む、諦める」回路から引き上げる(声掛け、励まし、指示、1人で背負い込ませない)  
 ・学生にエネルギーを与える  
 ・学生の不安を解消するためにも孤立化させないことが前提であり、その上で、これらのことを愚直に行うことにより確実に成果に繋がりました。

次年度は更に「就職に強い東京成徳大学」ブランドを構築すべく、様々な企画を立案しながら実行していきます。  
 八千代キャンパス  
 人文学部・応用心理学部

かなか大変な作業になりますので、保護者の皆様方におかれましてもぜひご家庭でお子様の就職活動のご支援をいただければ、と存じます。また、キャリア支援担当としても引続き個人面談を積極的に行い、一人ひとりの希望に沿った進路の実現に向けて精一杯お手伝いしてまいります。

**短期大学の就職状況**

幼児教育科は例年と同様に、ほとんどの学生が保育士及び幼稚園教諭を目指しています。

現在（11月末）の就職状況は、幼稚園が例年より早いペースで選考がスタートした影響で、内定率が74・7%と前年同日比で17・3ポイント高まっています。例年同様、卒業生全員が就職出来るよう活動を継続しています。

**内定者インタビュー**

（株）福谷 内定  
経営学部 経営学科



恒松裕太さん

Q. 就職活動をふりかえって

当初から志望業界を絞らずに興味を持った業界や企業に片っ端か

らエントリーをし、就職活動を行いました。内定を得るまでに数十社の選考に落ち、心が折れそうになったり、落ち込んだりの繰り返しでした。しかし、そんな時でもゼミの先生や学生生活課の就職指導担当の方に相談に乗ってもらいながら就職活動を継続し、結果として（株）福谷に内定を頂くことが出来ました。

Q. 後輩へのアドバイス

面接では必ず「学生時代に力を入れたことは何ですか？」と聞かれます。テーマや目標を持たずに毎日経過していると、この質問に答えることが出来ません。

何でもいから「これだけはやりきた！」というものがあれば、自信を持って就職活動に臨むことが出来ると思います。就職活動は大学での生活全てが問われているという事です。

ミサワホーム東関東（株） 内定  
応用心理学部 健康・スポーツ心理学科



中村将人さん

Q. 就職活動をふりかえって

私にとつての就活はまさに「充実」という一言でした。色々な人に

出会い、色々な人を頼り、自分の気付かなかったことに気付かされ、「人」としての様々な勉強の場が溢れていました。また、思っていることをなかなか言葉にできず苦労しましたが、それに気付くことができたのも就活であり、こんな経験ができたことは今までもなく、私にとつては緊張感のある大変充実した経験になりました。

Q. 後輩へのアドバイス

「あきらめない」「努力する」は当たり前です。内定を勝ち取るために、どのように努力するのか、それをどのように相手に伝えるのか、そこまで工夫することが大切です。また、今までの自分自身の経験を振り返ることが出来る良い機会なので、とことん自分と向き合い、自分と会話してください。物足りないなら親しい友人に、思っていることを正直に言ってもらってください。それが本当の自分です。そこから見えてきた自分の武器を磨き、思う存分使ってください。絶対にあなたを理解してくれる企業はあります。

〔就職支援センター〕

平成 25 年度 大学就職内定先（一部、順不同）

東光電気工事（株）、ミサワホーム東関東（株）、（株）YKK AP、（株）JTB 首都圏、近畿日本ツーリスト（株）、（株）エイチ・アイ・エス、ANA エアポートサービス（株）、（株）ナカムラロジスティクス、（株）千葉スズキ自販、（株）叙々苑、（株）乗馬クラブクレイン、千葉日野自動車（株）、千葉トヨペット（株）、りそなグループ、東京東信用金庫、（株）日本総研情報サービス、（株）ヤマデン、（株）ニューヨーカー、（株）ガリバーインターナショナル、（株）オンワード樫山、（株）チヨダ、ニッポンレンタカーサービス（株）、（株）エポックススポーツクラブ、シダックス（株）、（株）ソフエル、ハウスコム（株）、（株）いつ和、（株）ナルミヤ・インターナショナル、トランスコスモス（株）、（株）レイズインターナショナル、（株）ヨドバシカメラ、城北ヤクルト販売（株）、（株）福谷、（株）ヨークマート、（株）ベルク、（株）ゴディバジャパン、（福）まつど育成会、（財）日本ライフ協会、陸上自衛隊、日本赤十字社、山武郡市農業協同組合、（学）東京成徳学園、公私立幼稚園・保育所



学内で開催された企業セミナー

大学院

大学院生は、カウンセラーなど心理臨床の専門家となるための教育・訓練の一環として、大学院に併設される心理・教育相談センターの相談員として相談を担当し、日々の研鑽に励んでいます。しかし、こうした訓練を経て大学院を修了したからといって、臨床家として完成する訳ではありません。大学院を修了し、臨床心理士資格を取得した後も、臨床家としての技能を上げていくには、絶えざる研鑽が不可欠です。大学院では、修了生に向けたサポートと研鑽の場として、毎年、心理臨床研修会（通称PGC:Post-Graduate Conference）を開催しています。

今年度のPGCは11月17日に日本臨床心理士会会長の村瀬嘉代子先生、そして東京国際大学の溝口純二先生の両先生をお迎えして実施しました。まず村瀬先生から「これからの心理臨床家に求められること」というテーマでご講演いただき、先生の豊富なご経験に裏打ちされた、貴重なお話を伺うことができました。一方、溝口先生は、大学院修了生が実際に臨床現場で体験している問題を題材に、実践的な検討を行う会となり、こちらも意義の深

い場となりました。

PGCの運営事務局である心理・教育相談センターは、大学院の教員と大学院生が、乳幼児から成人、ご高齢の方々まで、幅広くご相談を受け付けています。相談は、1回50分（初回のみ90分）、学園関係者の方は初回150円、2回目以降は100円で承っています。お電話による受付時間は月曜～土曜の午前10時～午後6時（土曜日は午後5時まで）です。お困りの方がおられましたら学園関係者を問わず、どうぞお気軽にご相談ください。

大学院心理・教育相談センター  
TEL 03(3927)4117【直通】

大学 十条台キャンパス

子ども学部

子ども学とは（リレー掲載⑤）

「我が国の音楽の指導について」

助教 味府 美香

平成20年に改訂された小学校学習指導要領の音楽において、「国際社会に生きる日本人としての自覚の育成」とともに「我が国や郷土の伝統音楽に対する理解を基盤として、我が国の音楽文化に愛着をもつとともに他国の音楽文化を尊重す



求められるようになりました。

こうした潮流は日本だけではなく、世界の様々な国においても見られます。それは、国際化する社会に日本人としてのアイデンティティを持つてのぞむことに意味が見出されてきているのであり、つまりは、異文化に単に触れ・知るだけではなく、自分が日本人として持つていくものとの違いが何なのか、同じものがあるのか、という見方が重視されてきたと言えます。

こうした改訂の趣旨を持ちながらも、日本の音楽教育は長い間、西洋音楽を中心としてきた影響もあり、我が国の音楽を指導できる教師はまだまだ少ないのが現状です。将来、保育者や教師となる学生を育てる機関として、どのように我が国の音楽を指導していくのか、さらに

る態度等を養う」ことがあげられ、

経営学部

我が国の伝統的な音楽の指導の充実がこれまでに以上にある。経営学部は「社会に真に役立つ人物の養成」を標榜し、ビジネス社会における諸問題を発見・解決できる能力の育成を目指す「実学教育」を実践しています。今回は数あるユニークな講義の中から「現代ビジネス講座」を紹介します。

「現代ビジネス講座」は、ビジネスの最前線で活躍する企業経営者を招聘し、約1時間の講演をいただくものです。自ら起業し一代にして上場企業にまで育て上げた創業者、先代より引き継いだ企業を大きく成長させた二代目・三代目経営者、規模は小さいながらもアイデアや技術力を武器に世界でビジネスを展開する中小企業経営者など、多様な顔ぶれが登場します。会社の将来に向けた経営方針等戦略的な話もあれば、ご自身の若い頃の夢や苦勞話、普段はめつたに聞くことのできない数々の失敗談、さらには学生が社会に出ていく際の心構えや応援メッセージなど、内容も大変バラエティに富んでいます。現実の企業をモデルに研究し、その経営者の息吹



キャリアデザインの講義

を身近に感じることが、学生にとってかけがえのない経験と言えるはず。社会に出た後も、折に触れこの講義を思い出し、常に前向きに新たなチャレンジを続けて欲しいと考えています。

**大学 八千代キャンパス**

**「就業力の強化」を目指してキャリア教育を一新**

若年者の雇用問題が深刻化しています。キャンパスでは、今年度からキャリア教育を一新し、「就業力の強化」を目標に、キャリア教育の授業科目を充実を図りました。

科目名	ねらい
キャリアデザイン A (就業常識)	現実を知る・対処法を知る
キャリアデザイン B (就業意識・スキル)	自分を知る・磨く
キャリアデザイン C (文章表現法)	コミュニケーション能力を高める
キャリアデザイン D (口頭表現法)	
キャリアデザイン E (就活力基礎)	就活力を高める
キャリアデザイン F (就活力実践)	
インターンシップ	就業体験
新聞を読む A B C	
世界情勢 A B	社会常識を身につける
日本情勢 A B	

ここでは、「キャリアデザインA」の内容を紹介します。テーマは3つです。

- ◆ 生涯生活費・生涯賃金を知る
  - ◆ 若年者雇用問題を知る
  - ◆ 労働関連法、社会保障制度に関する実践的知識を身に付ける
- ① 働き始めるまでの段階
- ・ もし内定が取り消されたら？
  - ・ 労働条件がはつきりしなかったら？
- ② 働き始めてからの段階
- ・ 約束通り給料を貰えなかったら？
  - ・ セクハラ、パワハラを受けたら？

- ・ 企業年金には入った方が良い？
- ③ 辞めなければならなくなった段階
- ・ 突然「クビ」だと言われたら？
- ・ 会社が倒産したとき給料や退職金はどうなる？
- ④ 辞めた後の段階（雇用保険、再就職など）
- ・ 「離職票」がもらえなかったら？
- ・ 雇用保険を利用するにはどうしたらよい？

終身雇用制や年功序列型賃金が崩れつつある中で、きちんと就職し、クオリティの高い労働条件・環境の中でやり甲斐を感じつつ働き続けるためには、このような知識を身につけることが必要な時代になったと言えるでしょう。

**短期大学**

**幼児教育科マネジメントサイクルの構築に向けて**

平成25年度、新学長が就任され安見科長のもとで新たな組織づくりが進展しています。まず、当初の課題は幼児教育科のディプロマポリシー（卒業認定・学位授与に関する方針）とカリキュラムポリシー（教育課程の編成方針）の整備でした。これらの方針は建学の精神「成徳」という「徳を成す人間の育成」を教

育体制により反映することに視点が置かれました。次に、履修モデルの作成が行われました。短大2年間という短い期間に、学生が自らの目的に合う履修が実現できるように設定しました。

これらの幼児教育科の基本方針が明示・確定されたことにより、これをいかに運営して行くかのカリキュラムマップの作成が求められました。カリキュラムマップとはカリキュラムポリシーに基づき、それぞれの科目において授業で養成する技術や学力を明確にしたものです。幼児教育科のカリキュラムマップでは①「確かな専門的知識と研究意欲を育てる」、②「保育の実践力と即応力を育てる」、③「豊かな人間性と社会性を育てる」、④「個々の学生の得意な分野を伸ばし、魅力ある保育者を育てる」の4つの項目が求められています。そのため、カリキュラムマップでは「知識・研究」「実践力・則応力」「人間性・社会性」「理解力・表現力」を基とし、さらにそれに「建学の精神」「教育理念」を含めた6つの項目をカリキュラムマップの基本としました。

このカリキュラムマップを運営するために「授業構成及び結果の評

「評価表」を作成し、それを基にカリキュラムマップを作成、検証・評価し、結果をカリキュラムに反映していくというマネジメントサイクルが必要となります。そのため、「授業構成及び結果の評価表等の作成要領」を作成し、組織の中での位置づけを明確にする方向で検討しています。

マネジメントサイクルについては、各授業から提出された「授業構成及び結果の評価表」に基づき、学部学務係が「カリキュラムマップ」を作成し、科長に提出し、次に、科長に提出された「授業構成及び結果の評価表」及び「カリキュラムマップ」についてカリキュラム検討プロジェクトにて点検・審議します。さらに、審議された事項に関しては教授会に報告され、全体に関わる事項については教授会にて審議し、カリキュラムに反映させるというシステムであり、現在はその構築段階にあります。

カリキュラムマップはマップを作成することが目的になつてはならず、カリキュラムマップにより絶えず、「成徳の理念・方針」が反映された授業実践が行われているかを検証し、より確かな授業運営を行っていくことに役立てるマネジメントサ

イクルとなることが大切なのです。

(文責 学務係長 大塚良一)

### 中高一貫部

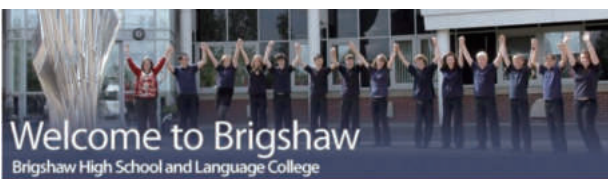
### 英語スピーチコンテスト



昨年度に引き続き、桐蔭祭(文化祭)で1・3年生による英語スピーチコンテストがおこなわれました。各学年とも英語の授業を通じて予選をおこない、そこで選ばれたクラス代表による決勝大会が、文化祭当日となります。2年生は土曜日、1・3年生は日曜日に、ヴェリタスホールでファイナリストたちによるスピーチをおこないました。各学年の今年のスピーチテーマは、1年生 My favorite person、2年生 Some aspects of Japan's history、3年生 Introduction to Tokyoです。

各生徒とも趣向を凝らしてオリジナリティあふれるスピーチに挑戦していました。日曜日のコンテストでは、イギリスにあるBrigshaw High SchoolのSimon Brass 教頭先生が海外審査員として参加してくださいました。Skypeを利用して双方の映像を送受信し、生徒たちのスピーチをリアルタイムで審査していただいたのですが、ホールのスクリーンにBrass 教頭先生が映し出されている中でのスピーチは、いつも以上に熱がこもっていたように聞こえました。現地時間では休日の早朝であるにもかかわらず、2学年分のコンテスト審査と講評までし

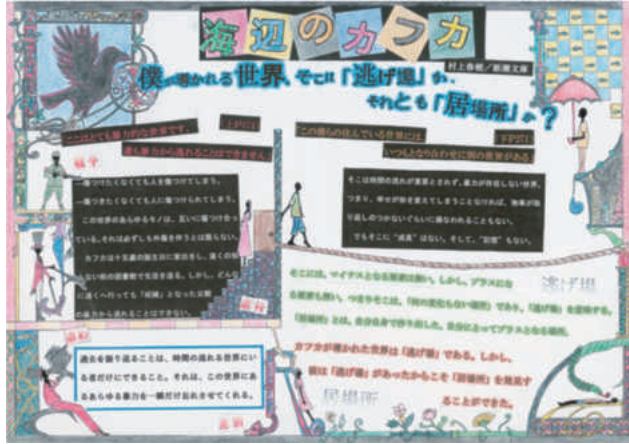
てくださったBrass 教頭先生に心より感謝申し上げます。今年度は、ホールでの発表の様子もストリーミング配信によるライブ中継をおこない、インターネット上でもご覧いただけるようになっていきます。生徒たちは、自分たちのおこなっていることが、世界中に配信可能なことにあらためて驚いていましたが、それと同時に、発信していくことの質を高め、その内容にきちんと責任を負うことの大切さも感じ取ってくれたと思います。これを機会に、世界とつながることの楽しさを一人でも多くの生徒に味わってもらいたいです。





高等部

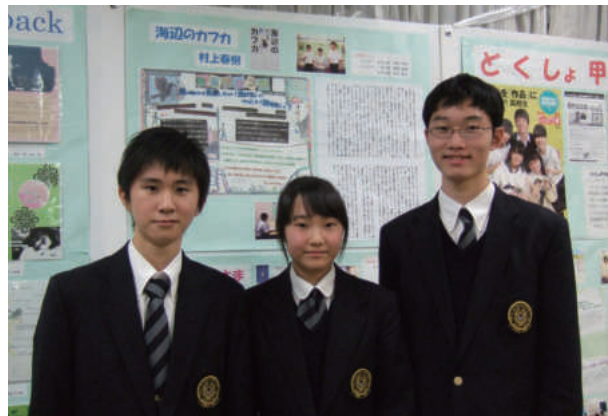
「どくしょ甲子園」 優秀賞 受賞



「どくしょ甲子園」 ホームページ掲載中

仲間と一緒に本を読んで語り合った成果を一枚の「どくしょボード」に表現する高校生の読書会コンクール「第4回どくしょ甲子園」(主催・朝日新聞社、後援・文部科学省)に、本校から3作品応募しました。最優秀賞1点、優秀賞2点、奨励賞3点が選ばれ、文芸部の味田将裕君、熊谷勇斗君(2年)、藤岡真衣さん(1年)のチーム(とりあげた

本 村上春樹著『海辺のカフカ』が、優秀賞に輝きました。本校生徒の受賞は、一昨年の奨励賞に続いて2回目です。受賞者3人は朝日新聞社のインタビューに答え、11月24日の朝日新聞朝刊に掲載されました。



左から熊谷君 藤岡さん 味田君

Q. 「海辺のカフカ」を選んだきっかけは?

味田 文芸部内に「ハルキスト」の先輩がいて、薦められました。今まで読んだことのない作品だからこそ挑戦し、意見をまとめてみたいと思いました。

Q. 苦労したことは?

味田 内容が重すぎて、作品のテーマも著者が何を言いたいのかも全

くわからず、本当に読書会は難航しました。10回を超える読書会で意見を交換するうちに、少しずつ見えてきたものがありました。

熊谷 長い作品の中で意見を出し合い、テーマが何か探すことにやりがいもありました。

藤岡 イラストと文字のデザインの整合性、作中にはいかにも意味がありそうなセリフが多くてどれを選ぼうかとても悩みました。

Q. どくしょボードのデザインは?

藤岡 作品の中で出てくるいろいろなもの(暴力・戦争・珍現象等)をいたるところに描いてみました。目を凝らすと作品を読んでいない人にも多くのイメージが湧いてくるような仕上げがあります。

Q. 読書会ルポの作成では?

味田 作中の「二つの世界」、考えているうちに一つが「現実」、もう一つが「逃げ場」または「居場所」にたどり着きました。自分たちが置かれている生活をイメージしたら考えがまとまっていきました。

熊谷 「大学に進学したい。でも勉強は辛い、逃げ出したい。」と思うことがあります。しかし、逃げ場があるから、また向上心を持って成長できるように思います。「逃げてもいいんだよ。逃げるという選択肢

があるから前に進むこともできるし、成長もできるんだよ。」というのが作者からのメッセージなのかもしれないと思いました。

Q. この経験から?

熊谷 「肯定的な逃げ場(居場所)」があつていいのではないかと思えるようになりました。

藤岡 応募前は徹夜で仕上げたりもしましたが、「苦労があつて光がある。」そんな気がしました。

味田 難しい作品でもここまで入りこむと自分なりに何通りにも読めることに感動しました。自分の意見を補ってくれる仲間がいたからこそ発見できたものが沢山ありました。

選考委員の一人である姜尚中さんは、講評の中で「今年ほど粒ぞろいの候補作品がそろった年はない。人生の機微や生と死の深淵をテーマにした、大人でも敬遠しそうな物語に挑み、大人顔負けの深い読み込みに達している作品が多かった。」とおっしゃっています。「どくしょ甲子園」は、メンバーの意見をまとめた作品として完成させるだけでなく多くの時間とエネルギーを使います。そんな経験は人生の中で必ずプラスになると思います。多くの生徒に挑戦してほしい企画の一つです。

深谷中学校

第1回桐蔭祭

11月2日、第1回桐蔭祭が行われました。内容はスピーチコンテストと学習発表会です。どの発表も生徒一人ひとりの創意工夫と個性にあふれたすばらしい発表となりました。とりわけ驚かされたのが、生徒の成長の早さです。

桐蔭祭の数日前、学習発表会のリハーサルを行いました。それぞれが自分たちでテーマを決め、一ヶ月かけて準備し、満を持して行ったりハرسالでしたが、結果はどれも不安が残るものばかりでした。その時点で残された時間は何日もなく、模造紙やフリップボードなどの資料を書き直す時間はありません。当日はもうなってしまうのだろう。口にはしないものの、大丈夫だろうか、できるだろうかと内心はらはらしていました。



しかし生徒たちはあきらめませんでした。どうしたらわかりやすくなるか、どうしたら聞き手に効果的に

伝わるか。それだけを考えてできる限りの改良を加えました。フリップを増やし、セリフもわかりやすくするよう変えました。紙芝居を一から手書きで書き直す生徒もいれば、レシブックを作って配布する生徒もいました。顔を上げ、声を出し、相手を見る。リハーサルではどこか自信なさげだった生徒の顔つきが、声が、当日には堂々としたものに変わっていたのです。あのリハーサルからたった数日でここまで成長できるものかと、一人ひとりの発表内容の変化に驚き、感心し、心から感動させられました。「わかりやすい発表がしたい」という生徒一人ひとりの思いが伝わる良い桐蔭祭でした。

深谷高校

ファームステイに挑戦

ーオーストラリア修学旅行ー

平成14年度より、国内から海外（オーストラリア）に切り替わった深谷高の修学旅行も、今年度からその内容を一新し、シドニー近辺の観光を主としたものからブリスベン郊外で2泊3日のファームステイをメインとするものになりました。初めて行うファームステイには、事

前の準備（パーソナルデータを全て英語で相手に送るなど）に教員・生徒ともども、戸惑いや手間がかかりましたが、11月24日～29日（1班）、26日～31日（2班）の4泊6日を思いのほか充実して送れました。



最も心配されたファームステイでは、「最初は不安だらけだったけれど、2人で仲良くステイができたし、ファミリーもたくさん話しかけてくれて楽しく過ごせた。2日間だけじゃ足りなかつたなあ。」（総合進学女子）、「ワラビーを探しにトラックの荷台に乗って、草原や山を回った。買い物も初めてして、パーティーにも連れて行ってもらい、プールにも入れた。とにかく書ききれない程の体験をさせてもらった。一週間こ

のままでも良いと思った。」（特進男子）といった生徒の感想ばかりが聞かれ、3週間のホームステイ企画でのホストファミリーとの別れを彷彿とさせる、涙・涙のお別れシーンもあちこちで見られるほどでした。

また、ブリスベン市内の自由行動やマイアミステートハイスクールとの学校交流でも「学校の人たちとの交流はとても楽しかった。分からないこともあったけど、ビーチフラッグなどで交流し、とても楽しかった。」といった生徒の感想からも、この修学旅行の目的の一つ、国際交流を通じた英語教育の実践がわずかにでも成果となり、これが生徒たちの実になってくれることを、大いに期待させてくれるものと感じられました。



幼稚園

素晴らしい運動会

10月14日(体育の日)秋晴れの中、幼稚園の大運動会が開催されました。年少組のかわいい遊戯やかけっこ、年中組の新組体操は今までから一新して、楽しくかわいらしくテーマにし、太鼓の合図だけで動き集中力を発揮した演技を披露しました。そして、年長組の成徳オリジナルのマスゲームでは、今年、野外劇風「ハリーポッター」の大作に挑戦しました。選曲・構成・振り付け・衣装共に大武教頭始め年長職員全員で、長期間研究し、取組み準備しました。園児の刻々と変わる体形変化や表現力豊かな演技の素晴らしさに、保護者は学年問わず感動して涙している姿も多く見かけました。



ハグリットに扮する園長先生

その中で、園長先生も重要な「ハグリット」役で熱演いたしました。年長は魔法使いになる為、一人ひとりが自分の役目をしっかりとこな

し、ホグワーツ魔法魔術学校に入学し、魔法使いハリーポッターの弟・妹になることができました。まるで映画の世界に迷い込んでしまったかのように、いつまでもその余韻は冷めませんでした。

起震車体験



北区の防災普及係からの派遣で、年長組が防災の紙芝居を見たり、起震車「なまず3世号」に乗り

り、実際に震度6強を体験致しました。初めは大きな揺れに戸惑う表情も見られましたが、日頃の訓練の成果で素早く机の下に潜り身を守ることができました。改めて落ち着いて行動する事の大切さを感じ、体験する事で防災への意識をさらに高めることが出来ました。

第二幼稚園

ハートフルサッカー(年長組)

さいたま市にはJ1チームが2つあり、それぞれの地域でサッカーの普及活動を行っています。本幼稚園には浦和レッズのコーチ、指導者、元選手が来てくれました。幼稚園から申し込むと日程などの調整を行い、無償で指導に来てくれます。準備運動から始まり、ドリブル、シュート、パスなど子ども達の技能で楽しめるゲームを行った後に指導者も含めたチームで、紅白戦を行いました。終了後にはみんなで記念写真を撮ったり質問をしたり選手と触れ合うことが出来ました。



芋掘り遠足(年少組)



10月28日、晴天に恵まれ幼稚園の近くにある農園へ、秋の自然に親しみ、親子で芋掘りを楽しむ目的で実施しました。少し暑いぐらいの天候でしたが、秋の日差しをいっぱい受けた中で、親子で畑に入り、楽しく芋掘りをしました。1家庭ごとに区切りが出来ていて、「こんなに大きなお芋がとれたよ」と見せてくれました。今年はお天候に恵まれ、お芋一つひとつが大きく育っていました。5株も掘ると相当の重さになります。翌日には、「昨日採ったお芋おいしかったよ。」「今日のお弁当にはお芋が入っているよ」などと楽しかった思い出を聞かせてくれました。

